

■中村哲医師の素人パワー■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 389 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

ご意見、ご質問大歓迎です。

オンラインの議論をご希望の方は、気軽に返信ください。

.....

389 目次

1. トピックス：すみだ EXPO2022 のご案内
2. ブログより：中村哲医師の素人パワー
3. 今週のお誘い+今後の予定
4. 地主の学校・販売中
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

.....

1. トピックス：すみだ EXPO2022 のご案内

今年もすみだ EXPO 始まりました。

昨年まで僕は単なる見物人でしたが、今後はこのイベントも担うことになる「八島花文化財団」の創設メンバーとして、片手片足くらいを突っ込むことにいたしました。

【すみだ向島 EXPO2022 基本情報】

開催期間：2022 年 10 月 1 日(土)～10 月 31 日(月)

定休日：火・水曜日

開催エリア：東京都墨田区京島・八広・文花 ほか

総合受付：京島駅（〒131-0046 東京都墨田区京島 3 丁目 50-12）

－公式 SNS－

Twitter：https://twitter.com/nagaya_art

Instagram：http://instagram.com/sumida_expo

Facebook：<https://www.facebook.com/sumidaexpo2022>

イベントの参加方法については、こちらをご参照ください。

<https://sumidaexpo2022.peatix.com/>

また、財団設立に向け、クラウドファンディングも開始しましたので、合わせてごらんください。

<https://motion-gallery.net/projects/ysh-zaidan/updates/43313>

.

さて今日は、もちろんこのイベントへのお誘いですが、僕も勝手に「松村デイ」を企画したので、是非ともお越しくください。

名称：「国づくり・よろず相談会」by 松村拓也

日時：10/10(月)および 10/24(月) 10-17 時

場所：バーバーアラキ・八島花文化財団準備室内

(墨田区京島3-20-5)

内容：「地主の学校(文芸社刊)」の著者：松村拓也による気軽なよろず相談所

参加者・当日の気分で、討論したり散策したり、どうなることやら？

お問い合わせは、このメールに返信ください！

.....

2. ブログより：中村哲医師の素人パワー

先日、アフガニスタンで命を落とした中村哲医師のドキュメント映画「荒野に希望の火をともし」を観て、痛く感動した。

<http://kouya.ndn-news.co.jp/>

中村医師が成し遂げたことは凄いことだし、殺害されたことは悔しいことだが、この映画は中村医師が亡くなった後も未来に向けて活動が終わらないことを伝えてくれる。

だが、僕にとって最も衝撃的だったことは、アフガンの大地を潤す用水路の建設が、江戸時代の日本から学ぶことで作られたということだ。

山田堰は、江戸時代に干ばつで苦しむ農民たちを救うため筑後川右岸の耕地を水田化するために設けられた井堰(いせき)のこと。

井堰とは、水をよそに引いたり、水量を調節するために、川水をせき止めた所を指す。

原型が造られたのは1663年で、1790年頃に現在の形となったようで、その後、幾度も大洪水に見舞われたが、現在も当時の形を留めている。

・

2019年12月に亡くなった中村医師が、干ばつによる上に苦しむ人々を医療では救えないと気づいたのは2000年の頃だった。

彼は無謀にも用水路作りを思い立ち、独学で土木工学を学びながら着手したのだが、資金も資材も無い中で参照できるのは昔の事例だけ。

そこで、日本全国の堰を訪れ山田堰にたどり着いた中村医師は、何度も山田堰を視察し研究を重ね、2010年に7年の歳月をかけて全長25.5kmのマルワリード用水路を完成させたという。

現在では1万6500haの荒野を農地に変えることで65万人の人が生活する、アフガニスタンの復興支援の灌漑用水モデルとなっている。

さらにアフガン各地の求めに答え、中村医師は山田堰を徹底的に模倣した堰を5か所で完成させたと映画は伝える。

・

山田堰は、水流に対して石を斜めに敷き詰めた、現存する全国唯一の「傾斜堰床式石張堰(けいしゃせきとこしきいしばりぜき)」で、ここから取られた水は現在でも約652haの農地を潤している。

筑後川の水圧と激流に耐える精巧かつ堅牢な構造は、南舟通し、中舟通し、砂利吐きの3つの部分に区分されており、取水量を増やし、激流と水圧に耐えるため、3つの構造的特徴がある。

日本から遠く離れたアフガニスタンでもモデルとされたことで、2014年には、「世界かんがい施設遺産」に登録された。

結局、中村医師の活動は、世界各地に堰の保全や知名度アップに貢献し、今後も中村医師の功績とともに、山田堰の技術が世界の人々に希望を与え続けることになるだろう。

さて、本題に戻ろう。

僕が驚いたのは、「ど素人の中村医師だからこそ、この山田堰に着目した」ということだ。

だが、振り返ってみればそれは「当然のこと」だった。

そもそも資金も資材も無い中で、現代の技術や工法を採用できるわけがない。

周囲で調達できる無償の材料を使い、無償の人力で作るしかないのだが、それは昔の人間が当たり前やってきたことだった。

さらに、せっかく作った用水路が、洪水で流されるたびに、これを防ぐにはどうすればいいのかを模索する。

だったら、すでに 200 年以上の時を経ている事例に学べば良いと気づき、彼は山田堰にのめり込んでいった。

資金だけでなく知見すらない素人でも、明確な目標をもって過去の事例を学ぶことで、こんなすごいことができるとは。

人間の歴史は無駄じゃない、日本の歴史は凄い・・・と僕は気づいた。

そして、僕のこんな感動には、すでに布石があったことに気付く。

昨年末、コロナ禍の中でマリアの塔を完成させたバルセロナのサグラダ・ファミリアが、そもそも贖罪教会（信者の喜捨により建設する教会）として計画されたこと。

無償の設計作業を引き継いで 2 代目建築家に就任した、当時は無名であったアントニ・ガウディが、1926 年に亡くなるまでライフワークとしてサグラダ・ファミリアの設計・建築に取り組んだ。

ガウディの死後、スペイン内戦によって当初の設計資料のほとんどが失われたにも関わらず、今もなお完成に向けて作られ続けているのは、誰かの知見や資金によるものではない。

卑近な例では、僕が関わる名栗の森での「道作り」は、山を壊さずに小さな重機がギリギリ入れる道を作り、こまめに手入れをすることで大きな崩壊を防ごうとしている。

これも、先人たちが行ってきた道作りと、先日観た映画「杜人（もりびと）」から多くを学んでいる。

人々は簡単に「持続可能性・サステナビリティ」という言葉を口にするが、本当にわかっているのだろうか。持続するということは、「成功し続けること」でなく、「失敗や破たんを乗り越え続けること」を意味している。中村医師が砂漠と格闘する頭上を、タリバンの空爆に向かう米軍ヘリが飛んでいく。

「敵という名の悪者をやっつけければ平和になる」という理屈で繰り返される戦争を横目で見ながら、中村医師は自分たちの戦いを「生き残りの戦い」と呼んでいた。

資金とか合意とか、条件付きの生き残りなど「真の継続じゃない」と、僕は思う。

<https://nanoni.co.jp/20221003/>

3. 今週+今後の予定（下記以外はすべて応相談）

【凡例】◎：申込不要、○：申込必要、×：一般参加不可

■今週の予定

(火) 10/04 なのに（各所）作業日

会議×：08-09 時 AR 子ども書籍 MTG (zoom)

交流○：10-12 時 佐谷さん来訪（反町）

- 会議×：20-21時 AR子ども書籍MTG (zoom)
- (水) 10/05 なのに (各所) 作業日
傍聴○：14-15時 Tさん公判 (横浜)
- (木) 10/06 なのに (各所) 作業日
会議×：15-16時 いづみ事務局MTG (反町)
- (金) 10/07 なのに (各所) 作業日
交流×：17-19時 AR食事会 (池袋)
- (土) 10/08 なのに (世田谷) 作業日
交流◎：09-15時 よろず相談会 (笑恵館)
会議×：10-12時 RYUSEN PJT (zoom)
- (日) 10/09 いづみ (横浜) 作業日
交流◎：09-17時 いづみ PJT オープンデイ (反町)
交流◎：12-14時 いづみ PJT 説明会 (反町)
会議×：15-16時 和田さんMTG (反町)
- (月) 10/10 なのに (墨田) 休業日
交流◎：10-18時 国づくり・よろず相談会 (すみだ EXPO2022)

■定例の予定

- 月曜・第2,4 22-23時 ○八島花文化財団準備室MTG (zoom)
- 火曜・第1 08-09時 ×AR子ども書籍MTG (zoom)
第2,4 20-21時 ○LR定例営会議 (zoom)
- 水曜・第1 10-12時 ○OforW経営運営会議 (zoom)
- 木曜・第2 15-16時 ×かなこPJT (zoom)
17-19時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)
第3 13-18時 ◎笑恵館なるほどデイ (笑恵館)
18-20時 ○笑恵館完全持ち寄り食事会 (笑恵館)
20-21時 ○一宮庵クラブ運営会議 (成城)
第4 17-19時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)
- 金曜・第1 08-09時 ○地主の学校ゼミ (zoom)
- 土曜・毎週 09-17時 ◎よろず相談会 (笑恵館)
第3 12-14時 ×RYUSEN PJT (zoom)
- 日曜・毎週 09-17時 ◎いづみPJTオープンデイ、説明会 (反町)
第1 10-11時 ×100smile会議 (zoom)
第4 10-14時 ○名栗の森オーナーシップクラブ月例会 (飯能)

■今後の予定

- 10/11 講義×：14-17時 早稲田大学出張講座 (笑恵館)
- 10/16 交流○：14-16時 小商い建築の公共性について考える (反町)
- 10/16 交流○：19-21時 八島花文化財団お披露目会 (京島)
- 10/21 会議×：10-12時 HFA定例会議 (恵比寿)
- 11/14 交流×：17-20時 K君MTG (日本橋)
- 11/20 交流○：15-17時 いづみ・トラウマセミナー (反町)

11/22-24 出張×：堺・有田・冷水視察（大阪・和歌山）

12/01-06 旅行×：結婚 40 周年（モルディブ）

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

4. 地主の学校・販売中

拙著【地主の学校】はこちら

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

5. アクセスポイント

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携帯 090-9830-3669

自宅：株式会社なのに（取締役・平社員）

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職場：一般社団法人日本土地資源協会（代表理事）

<http://land-resource.org/>

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19 笑恵館

<http://shokeikan.com/>

主な所属団体：

特手非営利活動法人 HOME-FOR-ALL（事務局長）

<http://www.home-for-all.org/>

一般社団法人地域社会圏研究所（事務局長）

<https://localrepublic.jp/>

.....

6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事の抜粋などの情報をほぼ毎週お届けします。

参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>